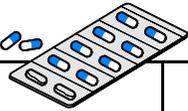
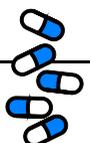
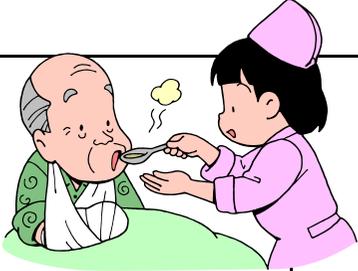


入院日 月 日 ( ) 時 分に患者サポートセンター内入退院支援室にお越しください(休日は玄関守衛室へ)

	外来	入院当日(手術前日)	手術当日・術前	術後	術後1日目	術後2日目	術後3～退院日
月 日	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	
処置			手術着を着て手術室へ行きます	一般病棟へ戻ります。酸素を吸入します。麻酔が覚めるまでは、ベッド上で安静が必要です。	連日、医師が処置をします。傷にある管や、尿の管は医師の指示で処置時に抜きます。処置の時間は、医師の外来の都合により、定時では行えません。		
検査	手術に必要な検査を行います。	入院当日 時より担当医より手術の説明があります。家族の方も同席をお願いします。					
点滴内服	毎日内服されている薬の中に、中止にする薬がないか確認します。 <b>中止薬</b> ( ) 入院当日も内服薬を確認しますので、看護師へお渡し下さい。	手術の時間帯により、手術の前に点滴をしていくことがあります。	抗生剤の点滴を1本します。場合によっては食事が出まませんので、点滴を朝まで行います。内服は中止のままです。	定期で内服していた薬を再開します。痛み止めの薬を内服していきます。抗生剤の点滴を9時と16時に行います。	抗生剤の点滴を9時と16時に行います。本日で抗生剤の点滴は終了しますが、場合によっては継続したり、違う点滴を追加で行うこともあります。	退院が決まったら、傷の様子により消毒薬や、追加の内服薬が処方されることがあります。	
安静				創部の状態により、医師が指示をだします。			
食事		21時までは飲食できます。	食事はありません。水分については麻酔科医師からの指示によります。	酸素の吸入が終了したら、飲水できます。医師の指示で、夕から食事ができることもあります。	通常通り食事ができますが、医師の指示で形状が変わることもあります。		
説明書類物品	入院についての説明・問診をさせていただきます。	病棟のオリエンテーションがあります。医師から手術の説明があります。手術の同意書は看護師にお渡しください。麻酔科医師からの説明があります。		傷の痛みが強くなったり、吐きっぽくなったら、看護師に報告してください。手術後の安静については、看護師の指示に従ってください。ご家族の方も、わからないことがあれば看護師にご相談してください。			退院後も傷の処置が必要な場合、退院前日か当日に、医師から処置の方法について指導があります。必要な物品や、わからないことがあれば看護師にご相談ください。保険手続きに必要な書類は、退院後、患者サポートセンター文書受付へ提出してください。病棟への提出はお断りさせていただきます。

DPCコード 070041xx97x0xx 軟部の腫瘍(脊髄を除く) その他の手術 処置2:なし

DPCコード 180060xx97xxxx その他の新生物 手術あり

DPCコード 070570xx010xxx 癬痕拘縮 癬痕拘縮形成手術等 処置1:なし